

## ニュースレター発送のボランティアに参加して

高校生 荻野レティシア

ボランティア、それも学校の枠を超えての活動に参加することは、私にとってかなり勇気のいることでした。

課外活動をすることで視野が広がるのではないかと、親の一言をきっかけに、募集中のボランティアを探していたところ日韓アジア基金のページを見つけました。その国際的な活動内容に興味をそそられた私は、すぐさま応募しました。

当日、作業を開始する前に一人一人に自己紹介の時間が設けられました。

中学生から社会人まで、幅広い世代の方が参加されており、自分と違う年代の方々の話を聞く機会はあまりないので、非常に興味深かったです。



作業内容は、「簡単な作業ですから誰でもできます」とボランティアの募集ページにも記載されていた通り、寄付してくださった方にお礼のメッセージを書きそれを封入する、という至ってシンプルなものでした。

カンボジアという遠い国の問題を身近に感じる機会は少ないかもしれませんが、しかしそれでも寄付して下さった方々に、寄付して良かった、また力になりたい、と書いていただけただけでも継続的な支援にも繋がるので、この様な形でお礼の気持ちを伝えることはとても大切だと感じました。

また、この大切な作業に対して程よい緊張感を持ちながらも、アットホームな空間が故にリラックスして作業を行うことが出来ました。

私は初対面の方相手に消極的になってしまう傾向があるので、最初は楽しみよりも不安の方が大きかったです。しかしスタッフの方、そしてボランティアの皆さんの暖かさのおかげで、短くも楽しく、且つ有意義な時間を過ごすことが出来ました。また機会がありましたら是非参加させて頂きたいです。